

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業（令和５年度）

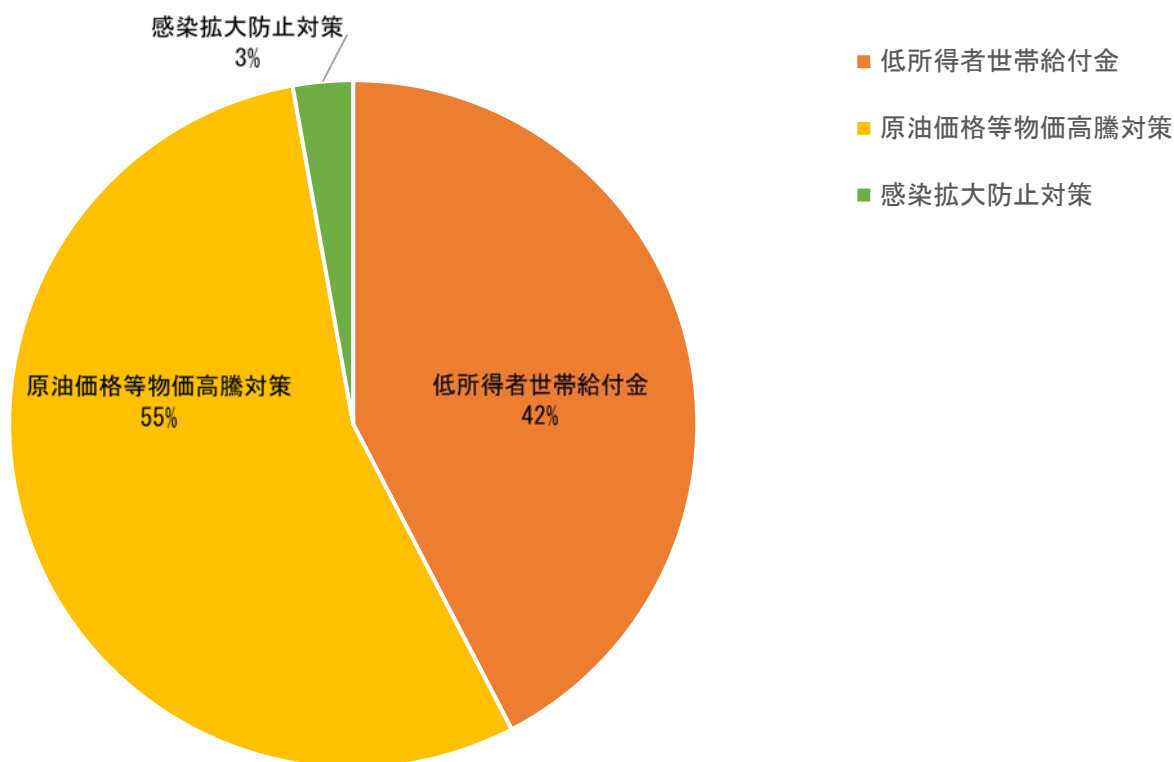
新型コロナウイルスの感染拡大の防止や感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援、家賃支援を含む事業継続や雇用維持等への対応、「新しい生活様式」を踏まえた地域経済の活性化等への対応、ポストコロナに向けた経済構造の転換・好循環の実現を通じた地方創生を図ることを目的として、実施計画に登載された事業に対し国から交付されます。

令和５年度の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は通常分が2,700,000円と、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の支援を主たる目的とする事業へ充当可能な重点交付金92,929,916円（低所得者支援枠40,526,916円を含む）の計95,629,916円が交付されました。

町が当該交付金を活用し令和５年度において実施した事業は以下のとおりです。

※総事業費及び交付金充当額については、千円未満を切り上げて表示しています。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 使途別充当割合



1 低所得者世帯給付金

(単位: 千円)

業名	事業内容	総事業費	交付金 充当額	事業の成果・効果及びその評価
低所得者世帯物価高騰対策給付金	コロナ禍における原油価格・物価上昇による影響が大きい住民税非課税世帯に対し、現金 3 万円を給付することにより、生活の安定と影響の緩和を図る。	40,527	40,527	- 令和 5 年度支給世帯数 1,259 世帯 - 給付支給金額 37,770 千円 個人町民税非課税世帯に対し、令和 5 年 7 月末から給付金の支給を行い、令和 5 年 11 月までに支給対象世帯の 95%を超える町民に支給した。 これにより、物価高騰や燃料価格の高騰により特に影響を受けている家計への負担を軽減できた。
小 計		40,527	40,527	

2 原油価格等物価高騰対策

(単位: 千円)

事業名	事業内容	総事業費	交付金 充当額	事業の成果・効果及びその評価
水道事業会計補助・操出	コロナ禍におけるエネルギー等の物価高騰の影響を受ける町水道事業への補助により経営を支援し、健全な経営と安定的な水道供給を維持する。	6,000	5,963	電気料金の高騰により、経営に影響を受けた町水道事業へ補助を行うことで、健全な経営と安定的な水道の供給を維持することができた。 また、補助により電気料金増高分を水道料金へ転嫁することなく安定的な経営が可能となったことで、町民の負担増を抑えることができた。
釧路管内牛乳消費拡大	コロナ禍におけるエネルギー・食料品等の物価高騰の影響を緩和するため、地域限定の牛乳券を 1 世帯につき 2 千円分交付することにより、酪農業者と町民生活の支援を図ることを目的とする。また、釧路管内の町村が一体となり取り組むことにより、夏休みに消費が落ち込む牛乳の消費拡大を図られる。	8,769	8,760	学校の夏休みで消費が落ち込む時期に地域限定の牛乳券を交付することで、牛乳の消費を後押しし、酪農業者への支援に繋がった。 また、牛乳券を使用することで食料品等の物価高騰の緩和へと繋がり、町民生活支援の一助となった。

がんばろう厚岸応援券	コロナ禍におけるエネルギー・食料品価格等の物価高騰による影響を緩和するため、地域商品券 4 千円分を全ての町民に交付することにより、事業者と町民生活の支援を図ることを目的とする。	37,690	37,680	本事業実施により、総額 32,937,000 円の換金や商品券使用に伴う現金等支払の相乗効果により町内消費の促進や経済効果があった。 また、事業者への事後アンケートでは、参加事業者の 68%が「効果があった」と回答。 このほか、商品券発行に伴う、商品券やポスター等の印刷を地元事業者に発注することができ、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた町内事業者の事業継続の一助として効果があった。
小 計		52,459	52,403	

3 感染拡大防止対策

(単位：千円)

事業名	事業内容	総事業費	交付金 充当額	事業の成果・効果及びその評価
小中学校感染症対策	新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、町内全小中学校保健室に換気機能付きの空調機を設置し、密室となる保健室での感染予防を図るとともに、夏期の猛暑対策として軽度の熱中症による体調不良児童・生徒の受け入れやクーリングルームとしての活用を行い児童・生徒の安心安全な学校生活の確保を行う。	3,243	2,700	換気機能付の空調機の設定により、感染症対策の更なる徹底及び夏期の熱中症事故の未然防止に向けた環境整備を図ることができた。
小 計		3,243	2,700	